

令和4年度全国学力・学習状況調査結果について【概要】

1 調査の概要

(1) 目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査期日 令和4年4月19日(火)

(3) 調査の方法 悉皆調査

(4) 調査を実施した学校数・児童生徒数

学 年	学 校 数	児 童 生 徒 数
小学校第6学年	公立小学校 261校 特別支援学校 2校 計 263校	児 童 10,600人
中学校第3学年	公立中学校 137校 中等教育学校 1校 特別支援学校 3校 計 141校	生 徒 9,977人

(5) 調査の内容

- ① 教科に関する調査(小学校…国語、算数、理科 中学校…国語、数学、理科)
 - ・調査問題では、下記1)と2)を一体的に問う。
 - 1)身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - 2)知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ア 児童生徒に対する調査(児童生徒質問紙)
 - 【小学校…69項目 中学校…69項目】
 - イ 学校に対する調査(学校質問紙)
 - 【小学校…82項目 中学校…80項目】

2 調査結果の概要

(1) 教科に関する結果

- 小学校では、国語は全国平均を下回り、算数は全国平均と同程度、理科は全国平均を上回るという結果であった。
- 中学校では、国語、数学は全国平均を上回り、理科は全国平均と同程度という結果であった。

【小学校】

区分	平均正答率(%)	
	山口県	全 国
国語	65	65.6
算数	63	63.2
理科	64	63.3

【中学校】

区分	平均正答率(%)	
	山口県	全 国
国語	70	69.0
数学	52	51.4
理科	49	49.3

※平成29年度から、都道府県等における各区分の平均正答率は整数値で提供

(2) 児童生徒質問紙の結果（詳細はP8～P12）

【よかった項目】

- 《児童生徒の意識》
友達と協力するのは楽しいと思う児童生徒や読書が好きな児童生徒の割合は、全国と比べて高い。(P8)
- 《学習習慣・ICT》
授業で、コンピューターなどのICT機器を使用した割合は、全国と比べて高く、小学校、中学校ともに増加傾向にある。(P10)
- 《地域との関わり》
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合は、全国と比べて高い。(P11)
- 《学びに向かう姿勢・授業》
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと思う児童生徒の割合は、全国と比べて高い。(P12)

【課題の見られた項目】

- 《学習習慣・ICT》
自分で計画を立てて勉強する児童生徒の割合は減少傾向にあり、小学校は、全国に比べて低い。(P9)
学校の授業時間以外の、普段1日当たりの勉強時間は、小学校、中学校ともに減少傾向にあり、全国と比べて低い。(P10)
- 《学びに向かう姿勢・授業》
授業で、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ小学生の割合は、全国と比べて低い。(P11)

(3) 学校質問紙の結果（詳細はP 13～P 17）

【よかった項目】

○《学校運営》

児童生徒の姿や地域の現状に関するデータ等に基づいたP D C Aサイクルを確立し、カリキュラム・マネジメントを行っている学校の割合が増加傾向にある。

(P 13)

○《学習指導》

大型提示装置や児童生徒に配備された一人一台端末を活用した授業を実施している学校の割合は、全国と比べて高い。(P 15)

○《学校・家庭・地域との連携》

近隣の小・中学校と教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合は、全国と比べて高い。(P 16)

【課題の見られた項目】

●《学校運営》

指導計画の作成に当たって、教育活動に必要な地域の人的・物的資源等を効果的に組み合わせている学校の割合は、全国に比べて高いものの、H31 と比べると同程度か下回っている。(P 13)

●《学習指導》

児童生徒に配備された一人一台端末を家庭で利用している学校の割合は、全国に比べて低い。(P 15)

●《学校・家庭・地域との連携》

コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行った学校の割合は、全国と比べて高いものの、昨年度と比べると同程度か減少した。(P 17)

(4) 今後の対応

各学校の課題解決に向けた取組の確実な実施に向け、市町教委との連携を一層強化する。また、今後も「やまぐち型地域連携教育」を基盤として「学校の組織力の充実」、「教員の授業力の向上」、「学校・家庭・地域の連携力の強化」の三つの視点から、それぞれの取組を推進するとともに、学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の更なる充実を図り、児童生徒一人ひとりの確かな学力の定着と向上に向けて取り組む。

□ 「学校の組織力の充実」に向け、4月の全国調査と10月の山口県学力定着状況確認問題を活用した年間2回の検証改善サイクルに基づく取組の充実を図る。学力分析支援ツール等を活用した結果分析及び児童生徒の誤答分析に基づく課題の焦点化を図り、全校体制で児童生徒の課題解決に取り組む学校を訪問等により支援する。

□ 「教員の授業力の向上」に向け、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた各種研修会や研究指定校等の成果の普及を図る。さらに教員の資質・能力を高めるため、教科の専門性やキャリアステージに応じた研修の充実を図る。また、県教委と市町教委の情報共有・意見交換の場を設定し、地域内の学校の学力課題を把握するとともに、課題解決に向けた各学校の取組、特に、児童生徒自身が分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる場面を重視した授業改善を支援する。その際、一人一台端末などのICTの効果的な活用についても推進を図る。

□ 「学校・家庭・地域の連携力の強化」に向け、中学校区における学力向上の取組を推進し、学習内容の系統性や指導方法の共通理解を図る。また、コミュニティ・スクールの仕組みを生かしながら、教職員と保護者、地域住民と児童生徒が学力向上について意見を交わす活動や学力課題の解決を意識した研修等を通じて、豊かな学びを支える学習環境づくりを進める。

3 資料

(1) 教科の結果

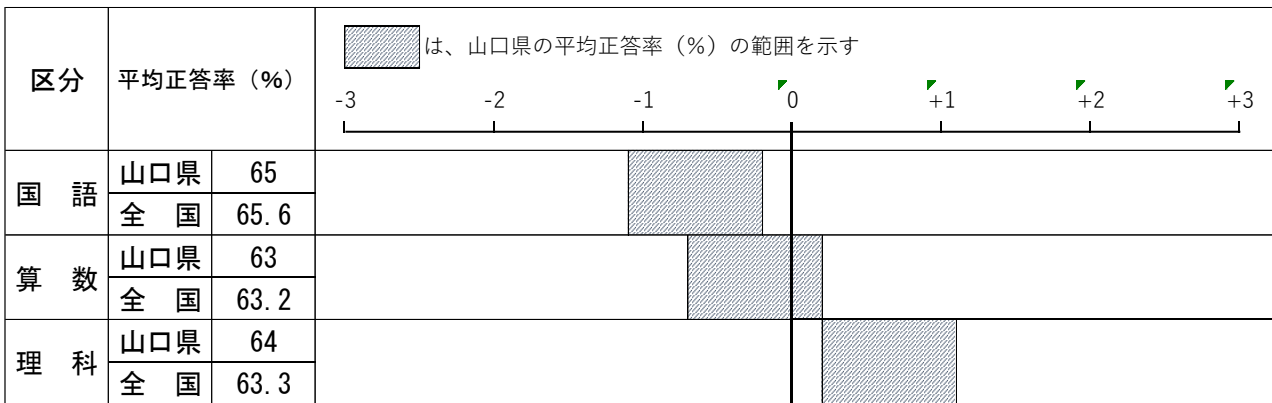
【令和4年度 各教科の結果】

○小学校

	平均正答率 (%)	
	山口県	全 国
国 語	65	65.6
算 数	63	63.2
理 科	64	63.3

(全国の平均正答率との比較)

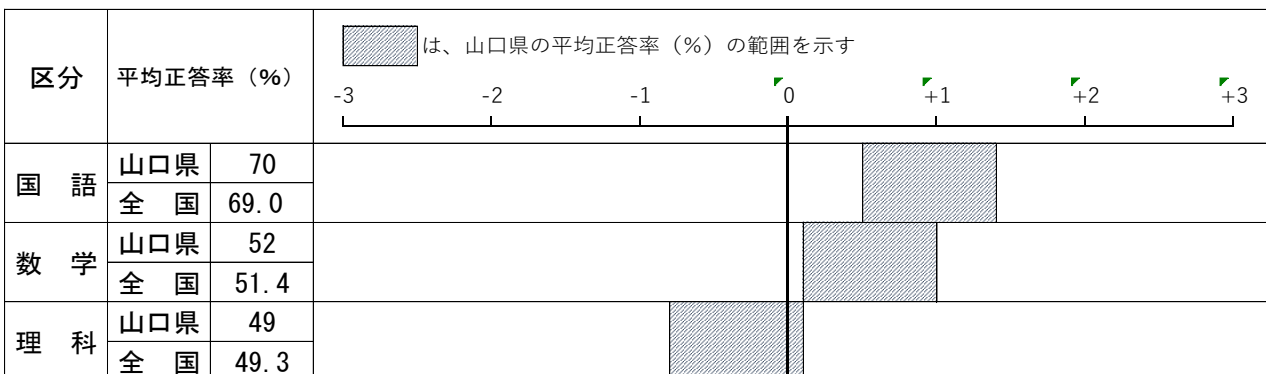
※ 平成 29 年度から、都道府県等における各区分の平均正答率は整数値で提供されているため、全国平均との差を範囲で示している。



○中学校

	平均正答率 (%)	
	山口県	全 国
国 語	70	69.0
数 学	52	51.4
理 科	49	49.3

(全国の平均正答率との比較)



【参考】

令和3年度

○小学校

区分	平均正答率 (%)	
	山口県	全 国
国 語	64	64.7
算 数	69	70.2

○中学校

区分	平均正答率 (%)	
	山口県	全 国
国 語	65	64.6
数 学	58	57.2

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休業等の影響により中止

平成31年度

○小学校

区分	平均正答率 (%)	
	山口県	全 国
国語	68	63.8
算数	67	66.6

○中学校

区分	平均正答率 (%)	
	山口県	全 国
国語	74	72.8
数学	61	59.8
英語	55	56.0

平成30年度

○小学校

小学校	平均正答率 (%)	
	山口県	全 国
国語A	72	70.7
国語B	57	54.7
算数A	64	63.5
算数B	52	51.5
理 科	62	60.3

○中学校

中学校	平均正答率 (%)	
	山口県	全 国
国語A	77	76.1
国語B	61	61.2
数学A	67	66.1
数学B	46	46.9
理 科	67	66.1

(2) 各教科区分の結果

小学校国語

○平均正答率が65%であり、全国平均を下回り、物語から伝わってくることや文章のよさについて自分の考えを表現することに課題が見られる。

【相当数の児童ができている点】

- 話し言葉と書き言葉との違いを理解すること
- 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと

【課題の見られる点】

- 人物像や物語の全体像を具体的に想像し、物語から伝わってくることをまとめた推薦する文章を、条件に合わせて書くこと **【別添資料P 1、2】**
- 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること

小学校算数

○平均正答率が63%であり、全国平均と同程度であるものの、日常生活の場面に対応させながら数量関係について考察することに課題が見られる。

【相当数の児童ができている点】

- 被乗数に空位のある整数の乗法の計算（ 1050×4 ）をすること
- 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述すること

【課題の見られる点】

- 示された場面において、目的に合った数の処理（概数）の仕方を考察すること
- 果汁入りの飲み物の数量が変わっても、同一の飲み物であれば、含まれている果汁の割合が変わらないことを理解すること

【別添資料P 3】

小学校理科

○平均正答率が64%であり、全国平均を上回っているものの、提示された情報を基に分析して解釈し、自分の考えをもつことに課題が見られる。

【相当数の児童ができている点】

- 問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつこと
- 観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつこと

【課題の見られる点】

- 光は直進するという性質を基に、条件に合う状況を選ぶこと **【別添資料P 4】**
- 問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書くこと

中学校国語

○平均正答率が70%であり、全国平均を上回っているものの、自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書いたり表現を工夫して話したりすることに課題が見られる。

【相当数の生徒ができている点】

- 聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫すること
- 場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈すること

【課題の見られる点】

- 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すこと
- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと

【別添資料P5】

中学校数学

○平均正答率が52%であり、全国平均を上回っているものの、数学的に説明することに課題が見られる。

【相当数の生徒ができている点】

- 簡単な連立二元一次方程式を解くこと
- 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解すること

【課題の見られる点】

- 箱ひげ図からデータの分布の特徴を読み取ること
- 筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明すること
- 日常的な事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること

【別添資料P6】

中学校理科

○平均正答率が49%であり、全国平均と同程度であるものの、他者の考えの妥当性を検討したり、実験の結果が適切か検討して改善したりすることに課題が見られる。

【相当数の生徒ができている点】

- 分子のモデルで表した図を基に、化学変化を化学反応式で表すこと
- 変える条件と変えない条件を制御した実験を計画すること

【課題の見られる点】

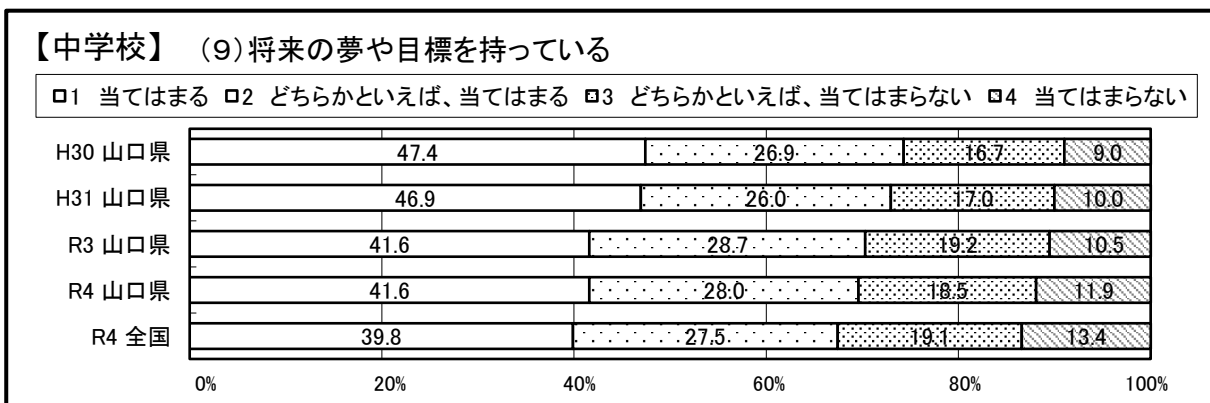
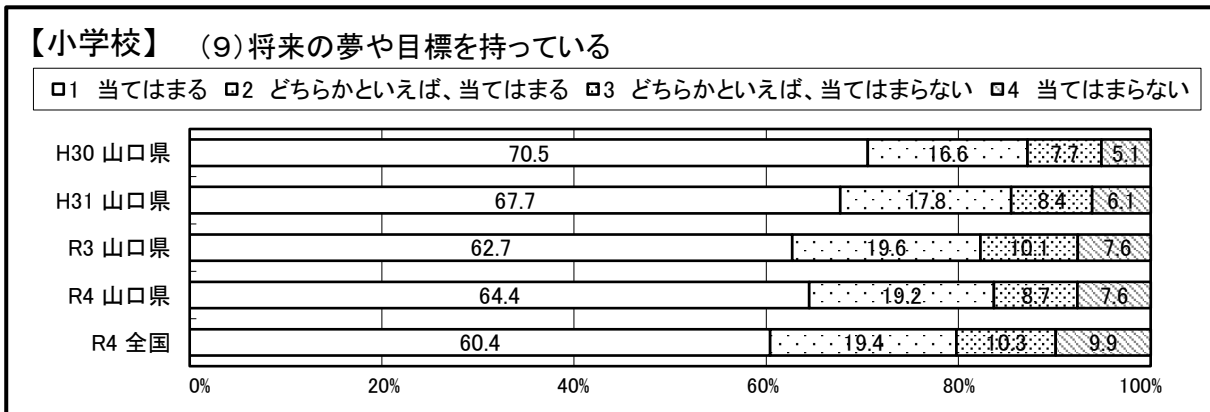
- 物体に働く重力とつり合う力を矢印で表すこと
- 他者が、データを用いて推論した考察の妥当性について判断すること

【別添資料P7】

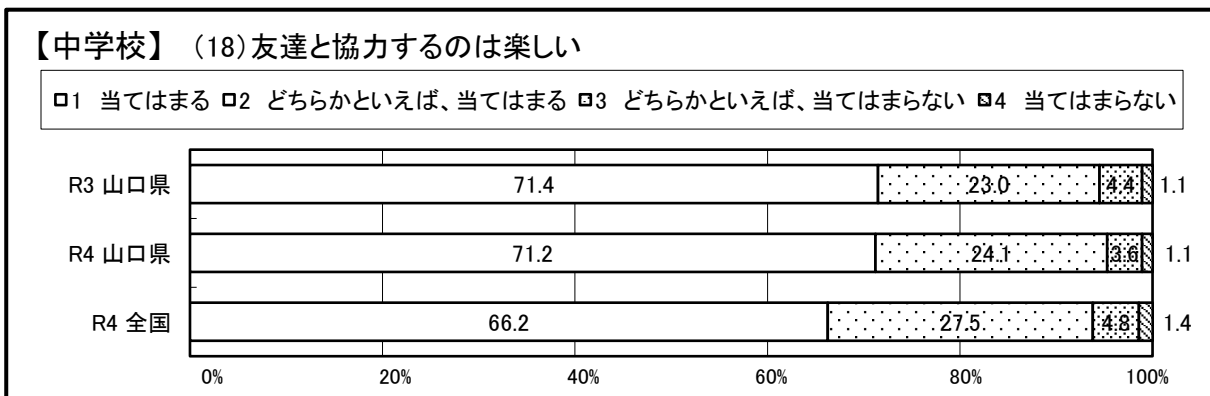
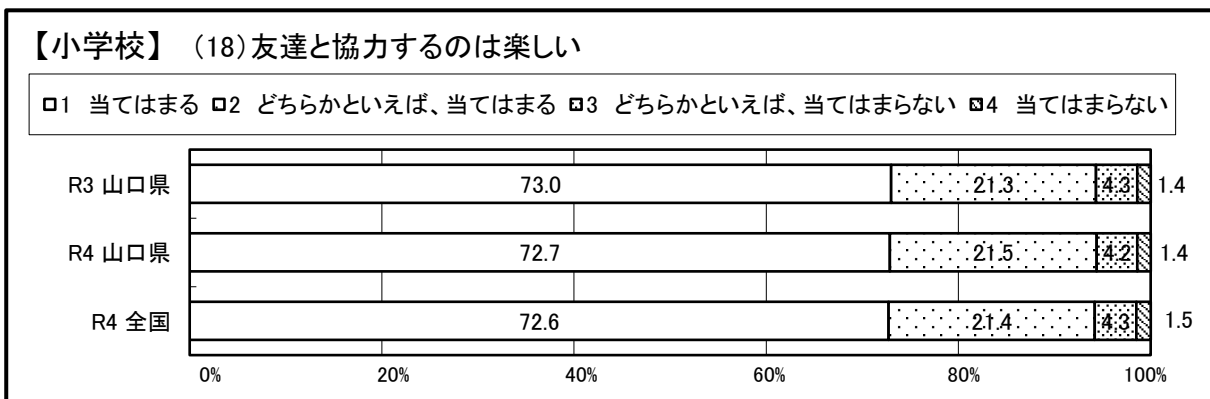
(3) 児童生徒質問紙の結果

① 児童生徒の意識

ア 将来の夢や目標を持っている



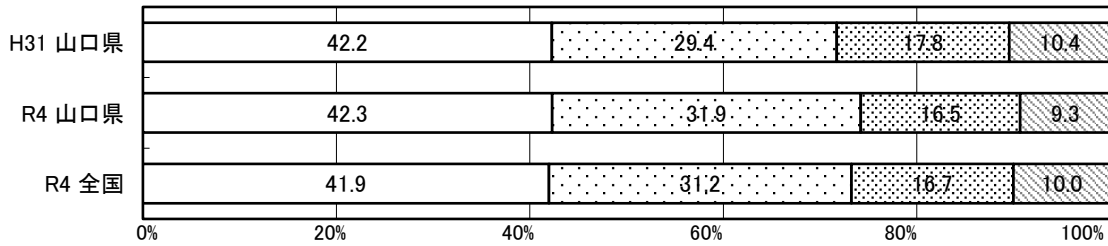
イ 友達と協力するのは楽しい



ウ 読書は好きだ

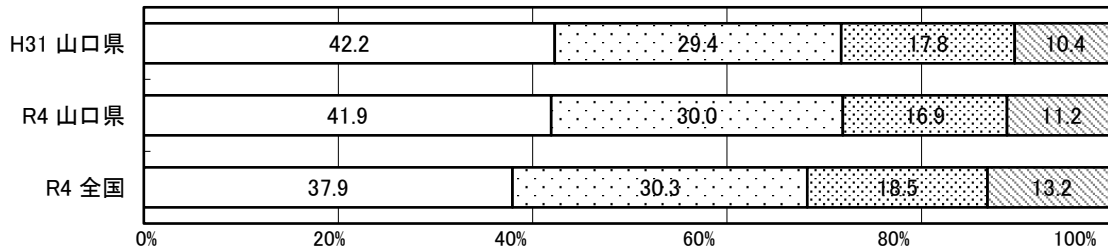
【小学校】(26)読書は好きですか

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】(26)読書は好きですか

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

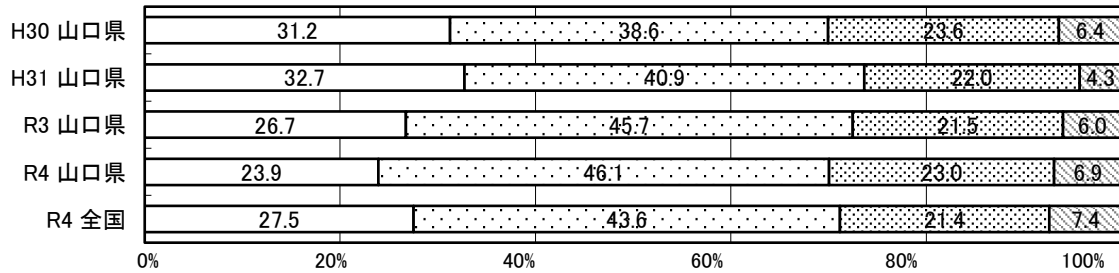


② 学習習慣・ICT

ア 自分で計画を立てて勉強する

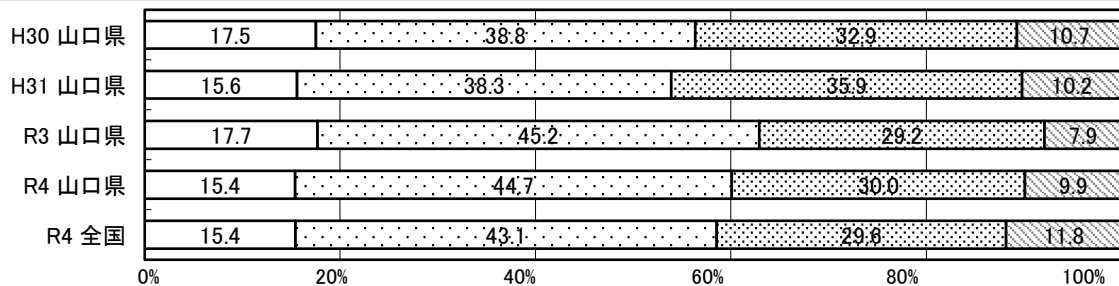
【小学校】(20)家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

□1 よくしている □2 ときどきしている □3 あまりしていない □4 全くしていない



【中学校】(20)家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

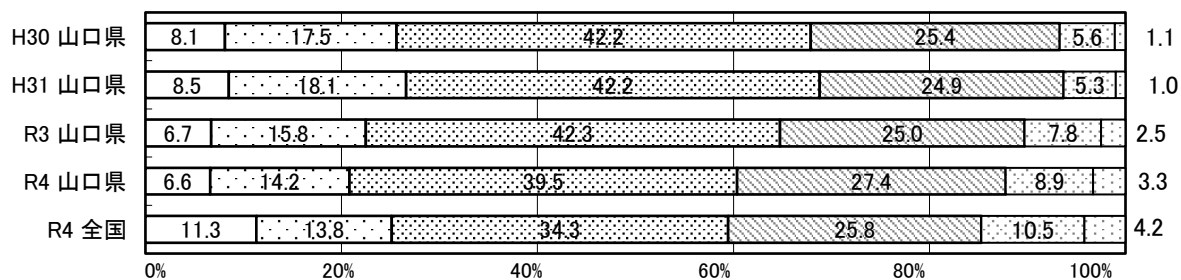
□1 よくしている □2 ときどきしている □3 あまりしていない □4 全くしていない



イ 授業以外の普段1日の勉強時間

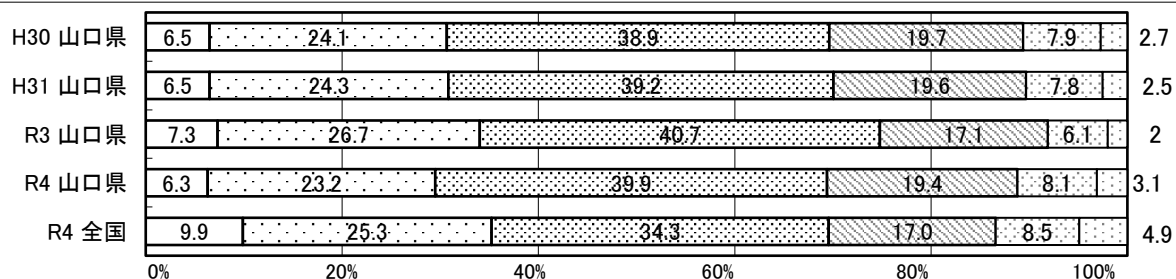
【小学校】 (21)学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

□1 3時間以上 □2 2時間～3時間 □3 1時間～2時間 □4 30分～1時間 □5 30分より少ない □6 全くしない



【中学校】 (21)学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

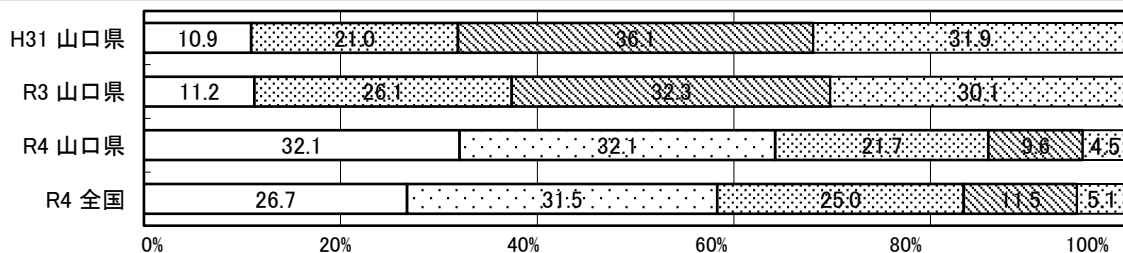
□1 3時間以上 □2 2時間～3時間 □3 1時間～2時間 □4 30分～1時間 □5 30分より少ない □6 全くしない



ウ コンピュータやICTをどの程度活用したか

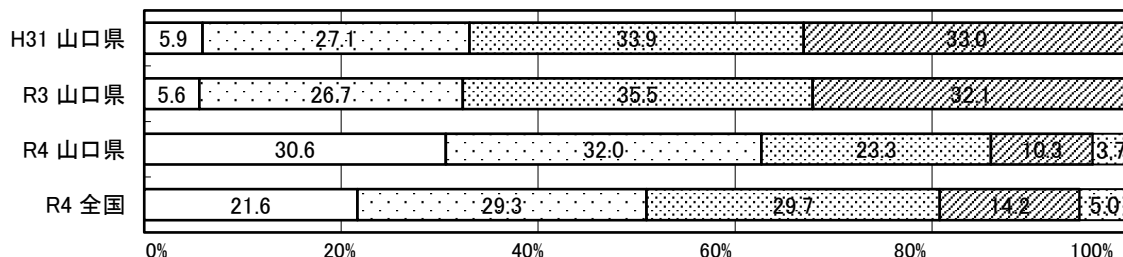
【小学校】 (32)5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか

□1 ほぼ毎日 □2 週3回以上 □3 週1回以上 □4 月1回以上 □5 月1回未満



【中学校】 (32)1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか

□1 ほぼ毎日 □2 週3回以上 □3 週1回以上 □4 月1回以上 □5 月1回未満

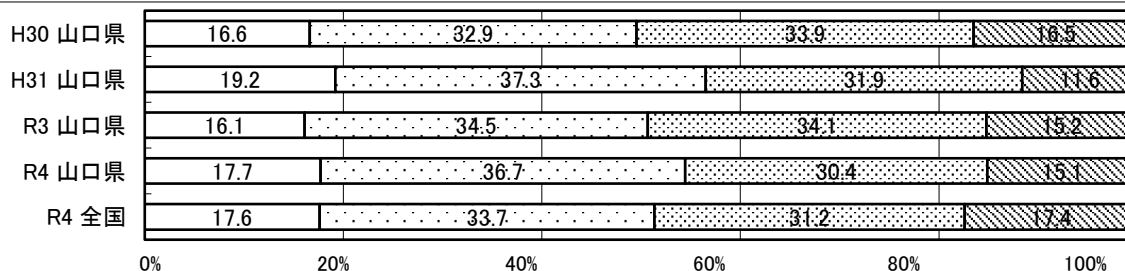


③ 地域や社会との関わり

ア 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えている

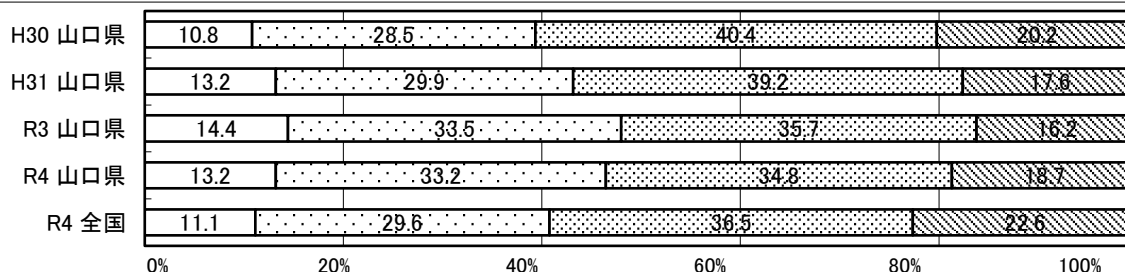
【小学校】 (30)地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 (30)地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

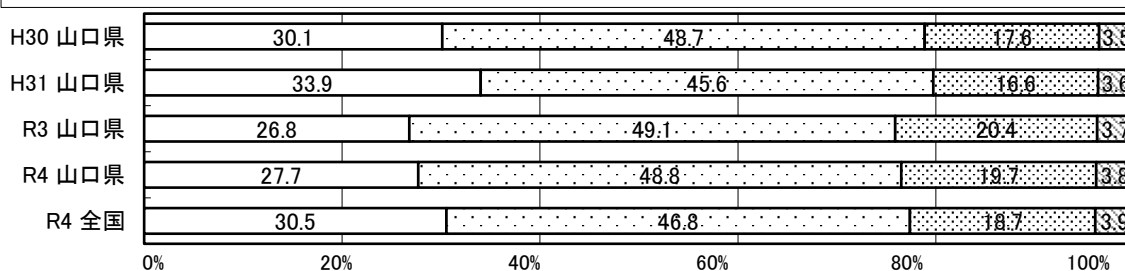


④ 学びに向かう姿勢・授業

ア 課題の解決に向けた主体的な取組

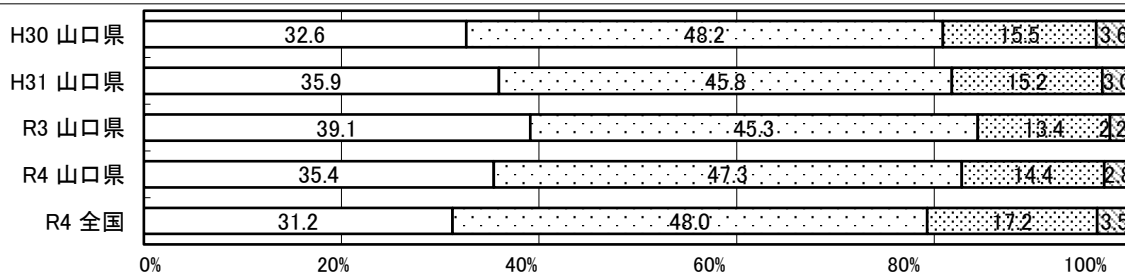
【小学校】 (39)授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 (39)授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた

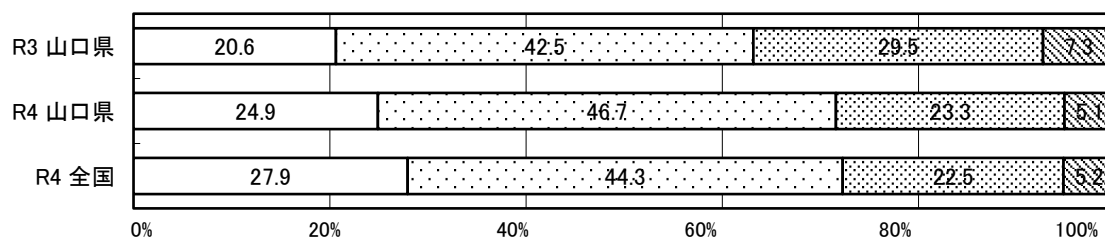
□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



イ 各教科で学んだことを生かして自分の考えをまとめる

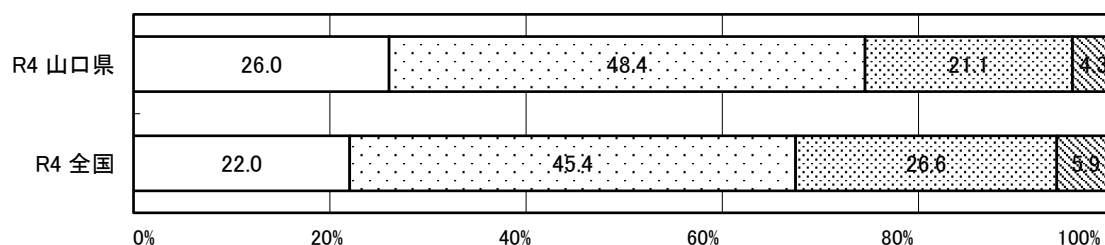
【小学校】 (40)授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 (40)授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた

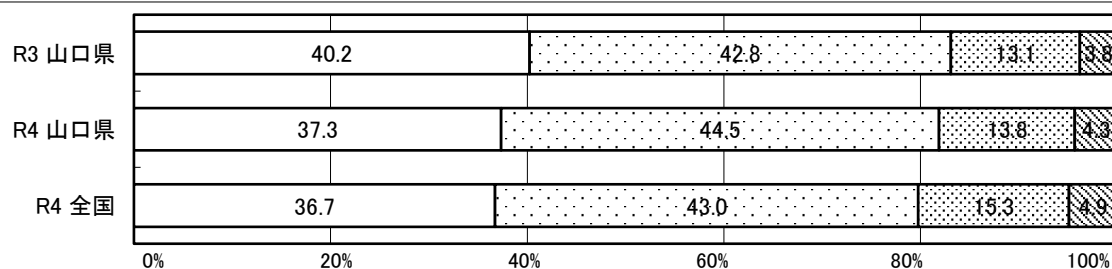
□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



ウ 学習者にあった教え方、教材、学習時間

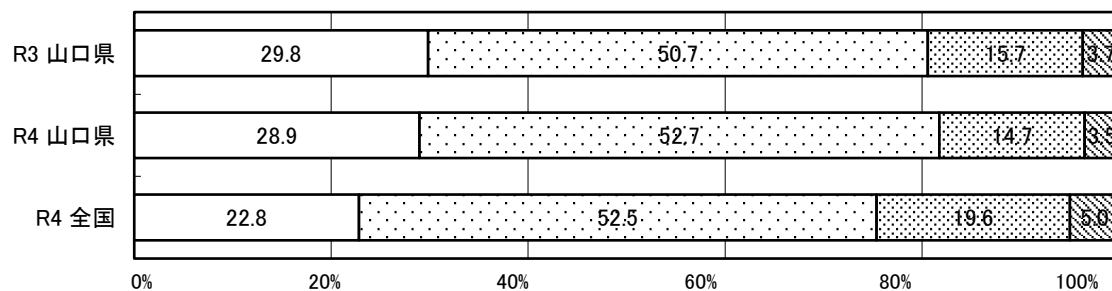
【小学校】 (42)授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 (42)授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた

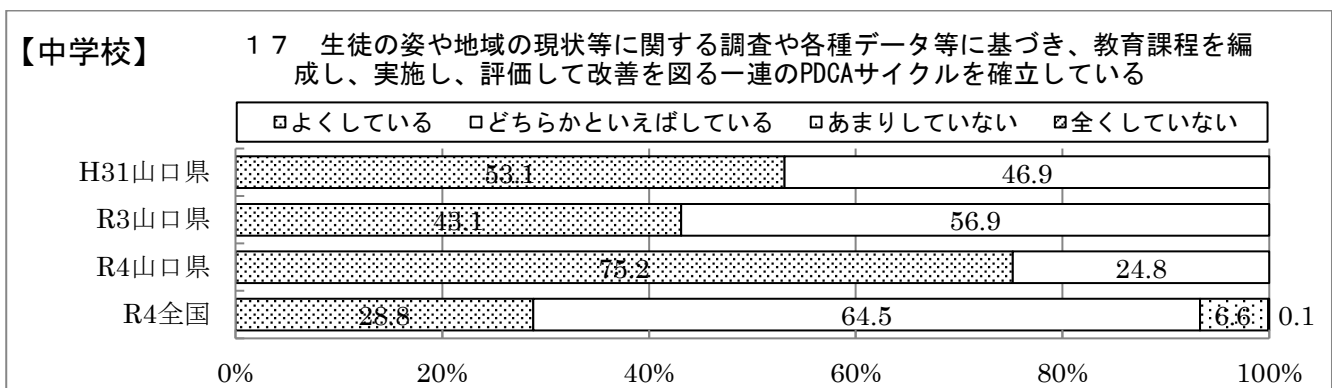
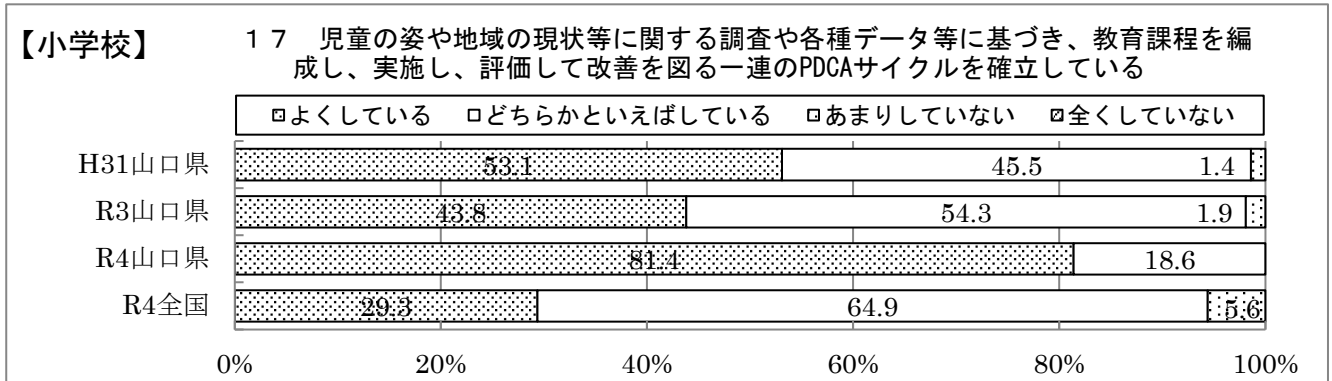
□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



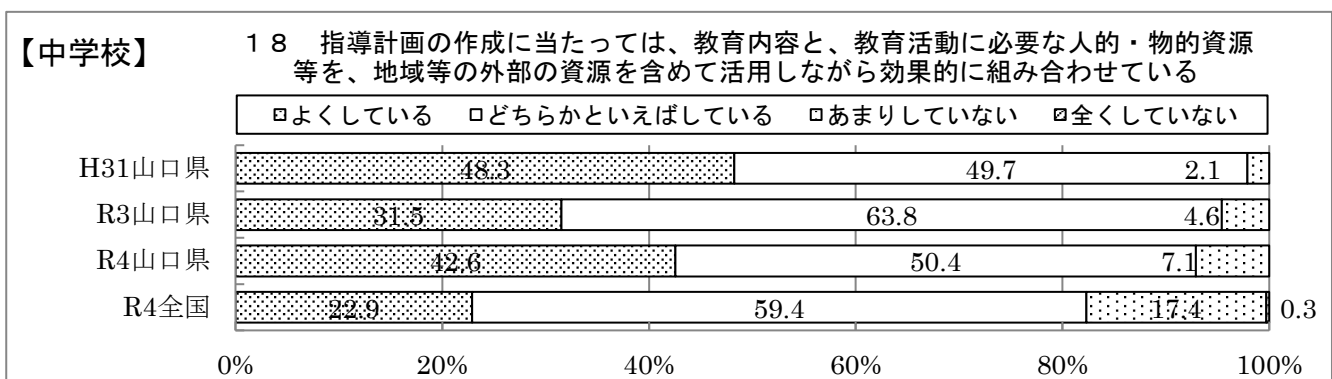
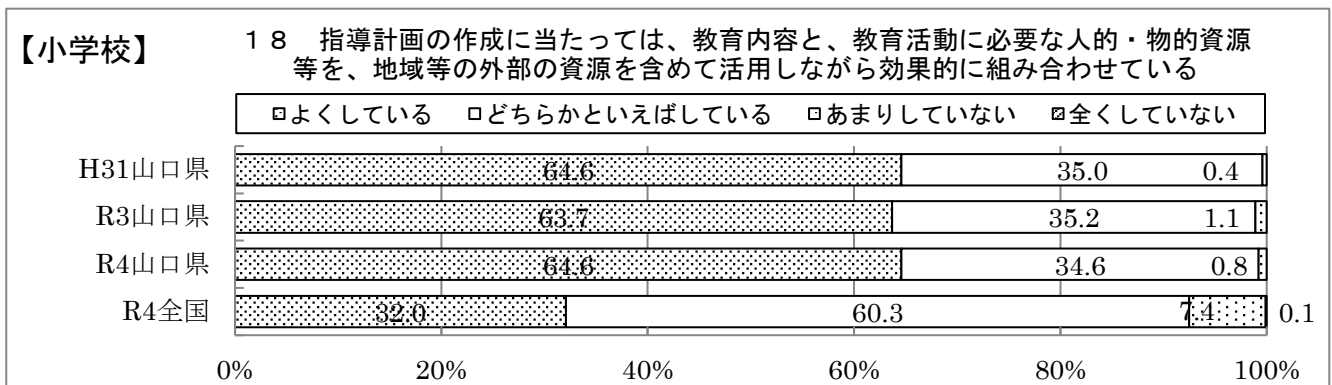
(4) 学校質問紙の結果

① 学校運営

ア 児童生徒の姿や地域に関するデータ等に基づいたPDCAサイクルの確立

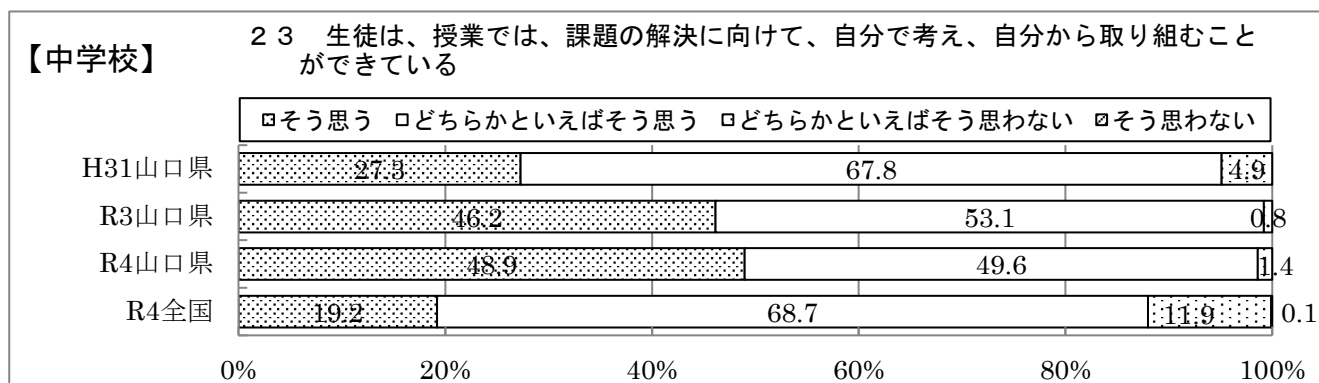
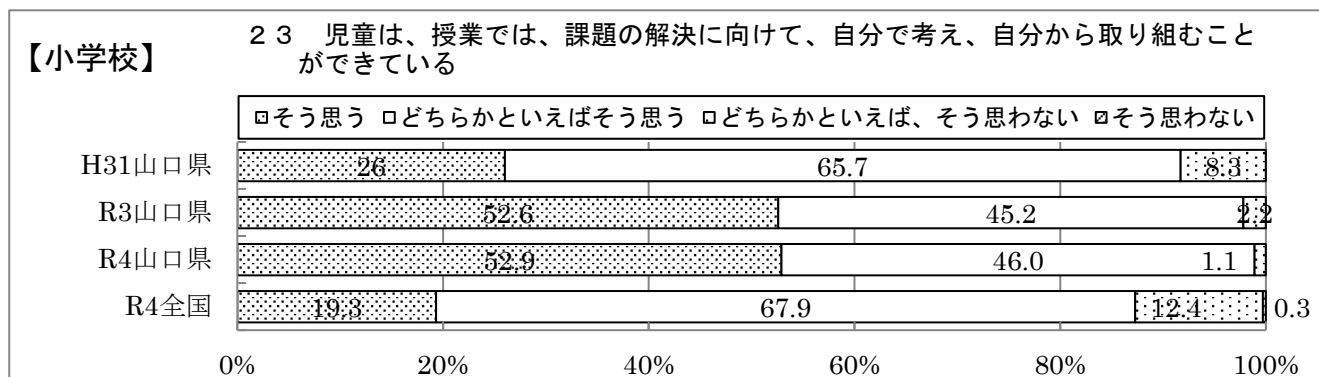


イ 教育活動に必要な人的・物的資源等の活用

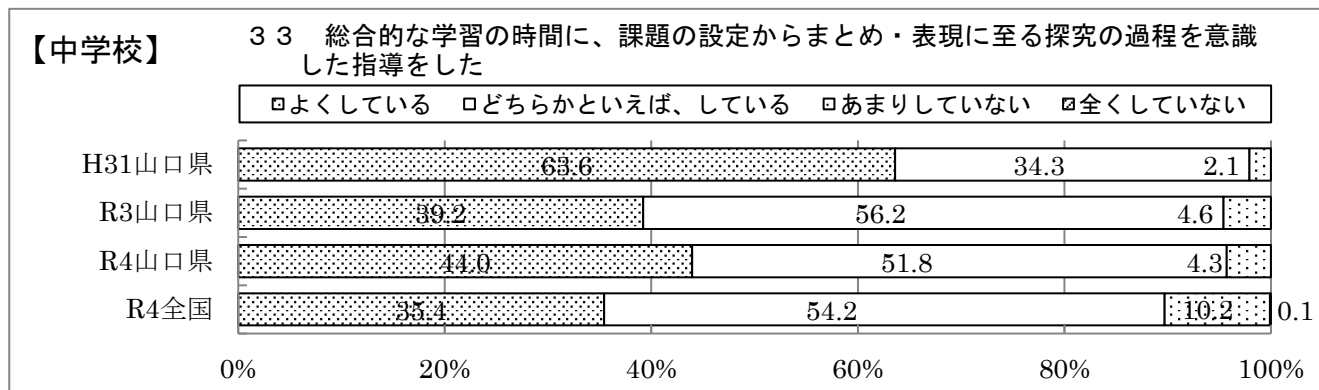
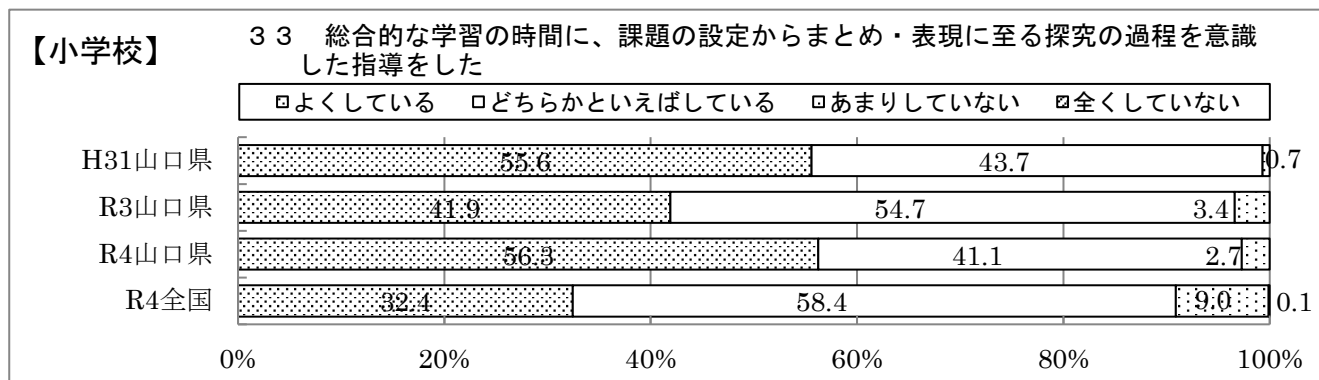


② 学習指導

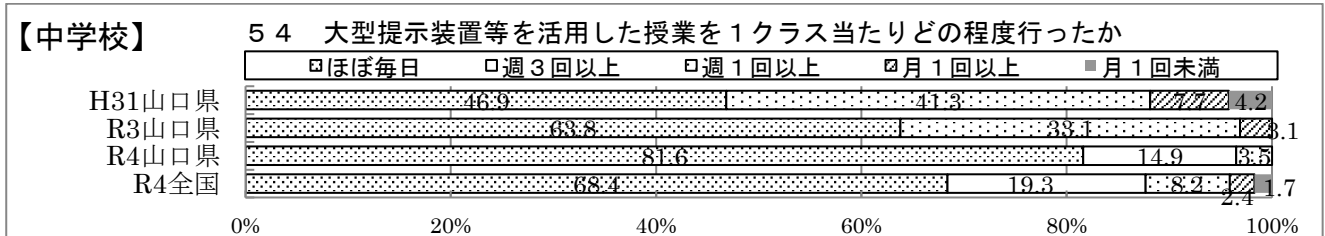
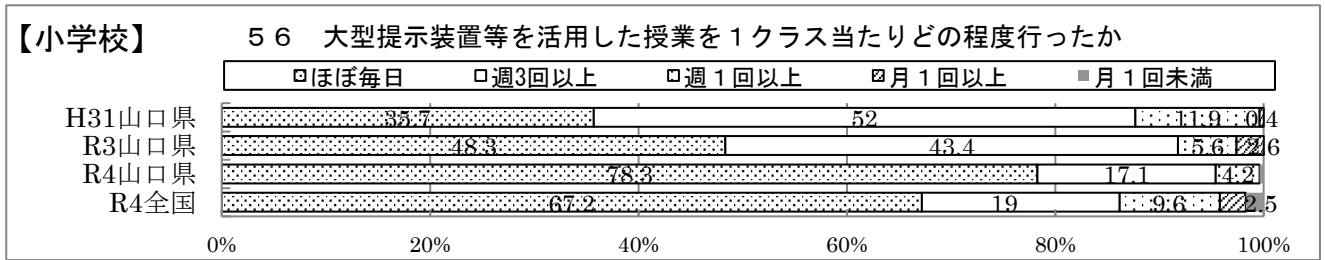
ア 授業では、児童生徒は自分で考え、自分から取り組む



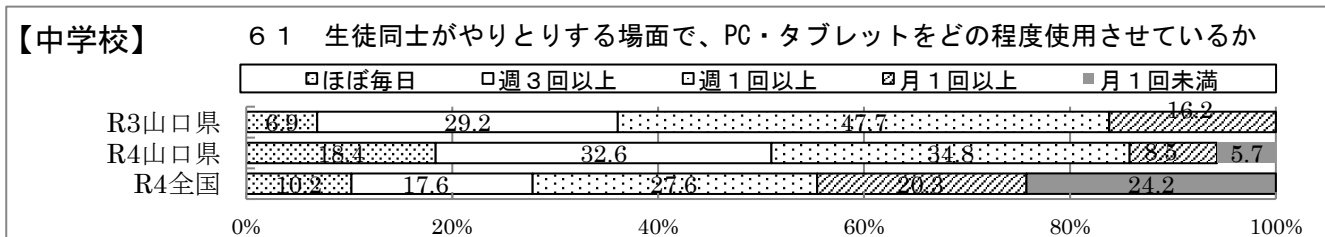
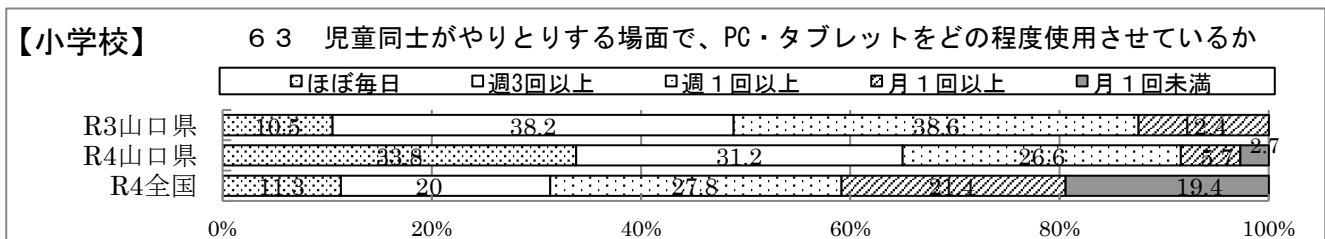
イ 総合的な学習の時間における指導



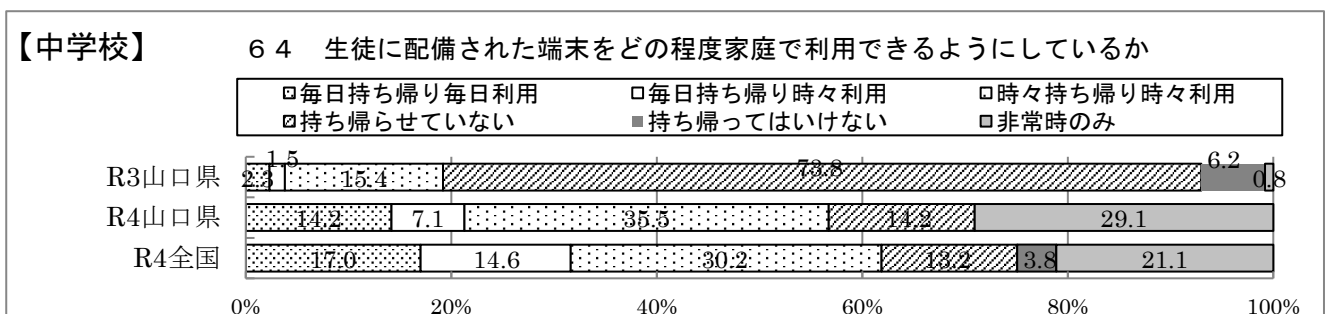
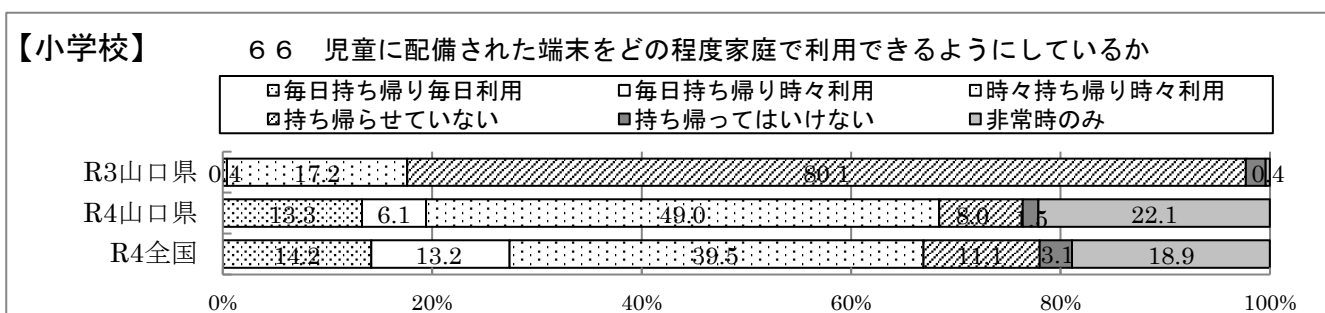
ウ 大型提示装置等のICT機器を活用した授業



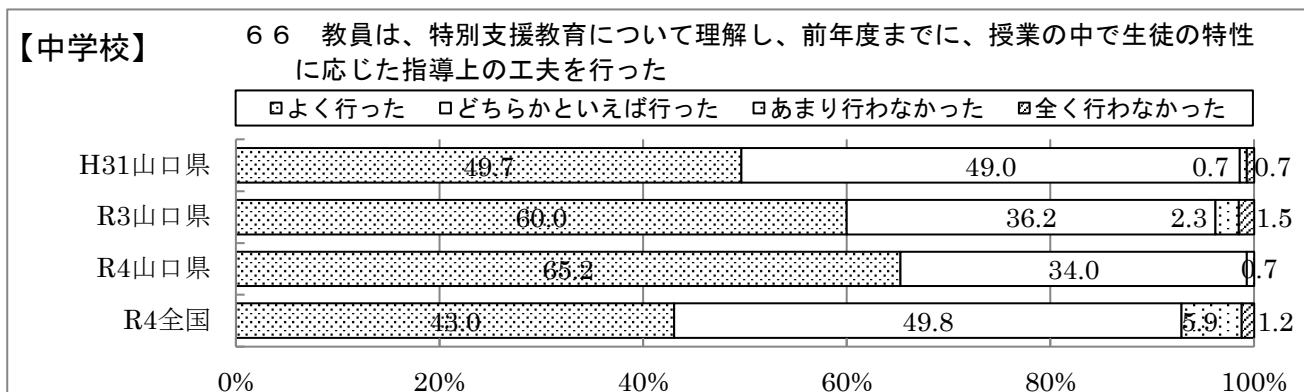
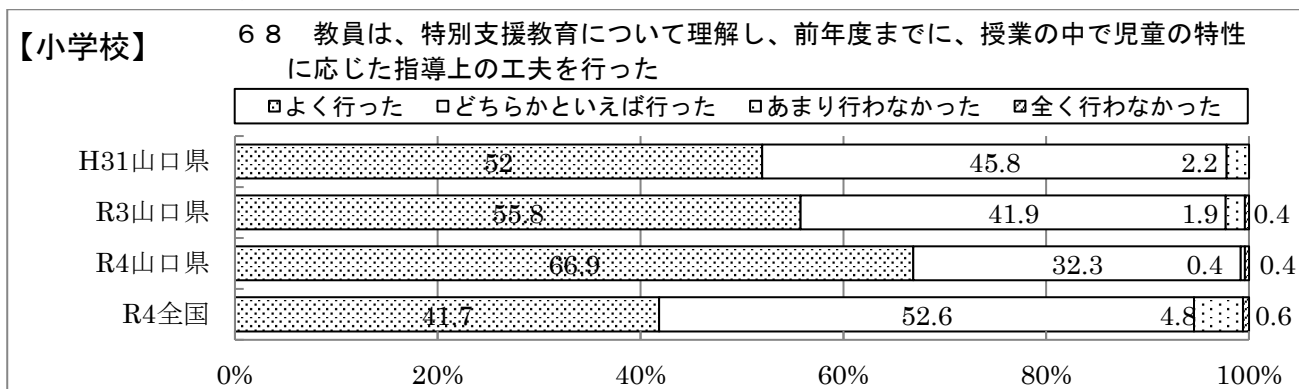
エ ICT機器を活用した児童生徒同士のやりとり



オ 配備された一人一台端末の家庭での利用

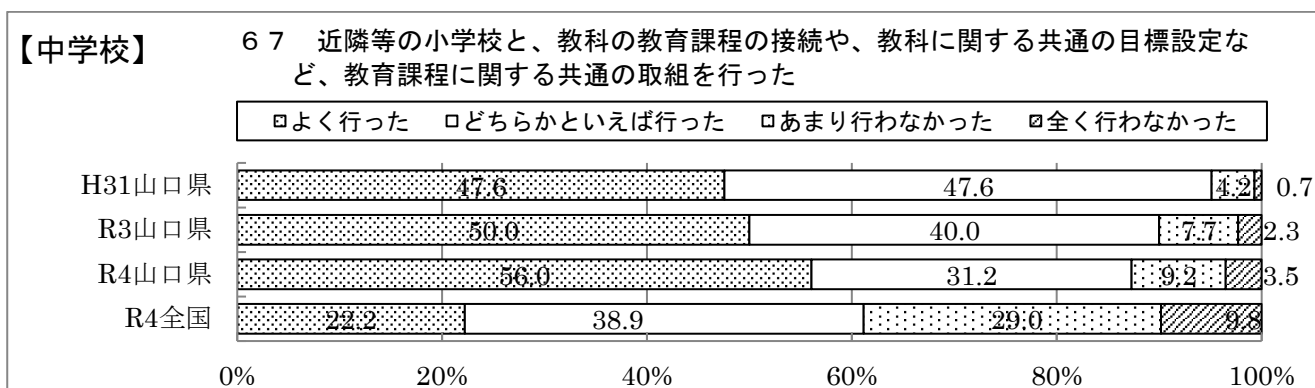
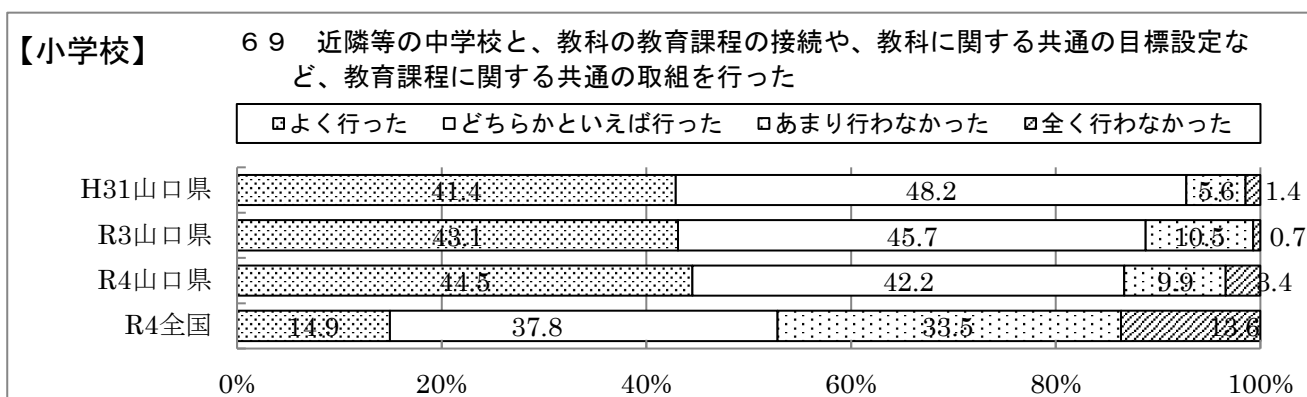


カ 特別支援教育の理解



③ 学校・家庭・地域との連携

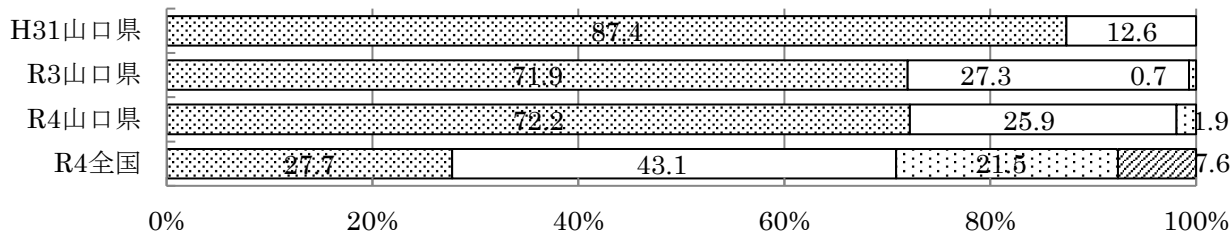
ア 教育課程に関する小・中学校共通の取組



イ コミュニティ・スクールの仕組みを生かした活動

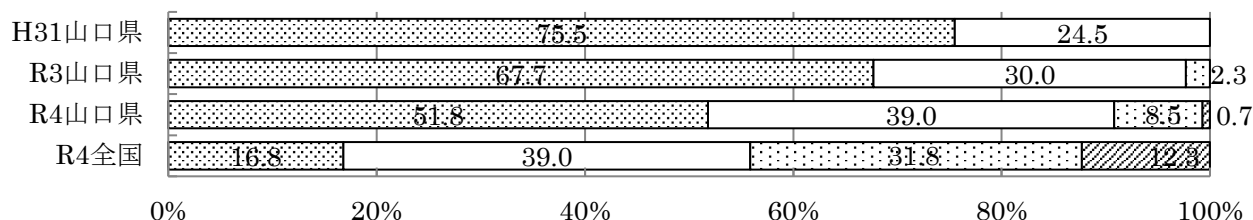
【小学校】 75 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行った

□よく行った □どちらかといえば行った □あまり行わなかった □全く行わなかった



【中学校】 73 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行った

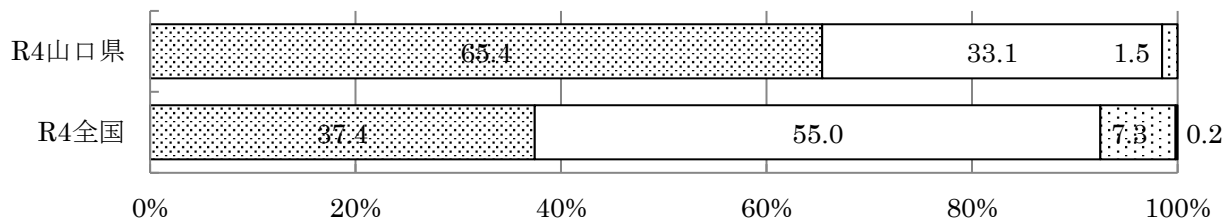
□よく行った □どちらかといえば行った □あまり行わなかった □全く行わなかった



ウ 家庭学習を促す働きかけ

【小学校】 78 保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行った

□よく行った □どちらかといえば行った □あまり行わなかった □全く行わなかった



【中学校】 76 保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った

□よく行った □どちらかといえば行った □あまり行わなかった □全く行わなかった

